

NPO法人アビリティクラブたすけあい

ACT通信

174号

2019年7月1日

<https://npoact.org/>

発行・責任者 豊泉惣子

会員数 5,893 人(5月末現在)

新理事長インタビュー 豊泉惣子さん

誰もが「会員になってよかった!!」 と実感できる A C T に

総会で選出された理事の皆さん



-目次-

*新理事長インタビュー…P2-3 / *総会・公開講座報告…P4-5 /

*連載コラム 角能 一男女共同参画社会促進に向けて…P4 / どう変わる? 公的制度…P5

*研修・講座案内7~9月…P5 / *あくといんフォメーション…P6 /

*4コマまんが「3人でGo!」…P6 / *理事会報告…P6 / *編集後記…P6



新理事長インタビュー とよいずみ ふさこ 豊泉惣子さん 誰もが「会員になってよかった!!」 と実感できる アクト ACT に

5 月に新理事長に就任された豊泉惣子さんは、たすけあいワーカーズ「さざんか」のメンバーでもあります。

豊泉さんがACT会員になったきっかけから、2019 年度方針、地域ACT構想、今後のACTの展望まで、長年ワーカーズで活動してきた思いを混じえながら、お話いただきました。

ACT会員になったきっかけ・・・

一枚のチラシから

杉並区のたすけあいワーカーズ「さざんか」の元代表である豊泉さんは、21 年前にメンバーになってACT



に加入しました。元々専業主婦でしたが、子どもも幼稚園から小学生になり、何か仕事をしたいと思っていたそうです。そんな時に、生活クラブ生協のチラシの中に入っていた、たすけあいワーカーズのアンケートを見たことがきっかけでした。「自分は家事や育児の経験を生かし、人の役に立つ仕事がしたい」と回答したところ、早速「さざんか」の当時の代表が自宅に訪ねてきて定例会に誘われ、何がなんだからよくわからないうちにメンバーになったそうです。

初めてのケア利用者は末期がんの方でした。当時は介護保険制度もなく、たすけあいの仕組みの自立

援助サービスでケアを行ないました。その方に「ボランティアと仕事は違う。お金をもらう以上はプロとして責任をもってほしい」といわれ、多くのことを教わったそうです。

その後、ホームヘルパーの資格を取得するため、障がいをもつ当事者の方が運営する事業所の研修を受講しました。その時から社会には色んな人がいて、様々な人と出会い接するのは楽しい、と思うようになったそうです。

「利用者の方に育てていただき、先輩からも沢山のことを教えてもらいました。働き方もたすけあいワーカーズは自主運営、自主管理で自分の生活に合わせてかかわることができるので、小さな子どもがいたのでありがたかったです。」

2019 年度方針について

「地域ACT」を作ることが大命題

今年度は地域ACTを都内に 15 ヶ所作ることを目指しています。地域ACTは会員どうしが緩やかにつながり、それぞれの思いを発信して、地域に安心の拠点を作っていくことを目標にしています。

昨年から3つのモデル地域で検討を進めてきましたが、つくり方も地域で様々です。中でも3月に立ち上げた文京区は、ACTの組織がまったくない地域でした。会員数も少なかったのですが、文京ACTが出来たことで人のつながりが広がり、自分たちで必要な拠点や仕組みが生まれることが期待できます。

豊泉さんがお住まいの杉並区では、すでに「市民版地域福祉計画」を完成させていますが、さらにもっと色々

なしくみが必要です。その意味でも地域A C Tを形成していくのは大きな意味があります。「これをきっかけに、外から見てわかりやすいA C Tをアピールできたらと思います」と豊泉さん。

今後の抱負は、「会員一人ひとりが主体者となって、お任せじゃなく自分たちで欲しいものをつくっていきけるA C Tの魅力を知ってもらうこと」そして「介護や子育てで孤独を抱える人たちが安心感を持てるように、ワークスや縁がわを充実させ、気軽に立ち寄って困ったことがあったらちょっと相談できるような、そんな場所をつくっていくこと、地域A C Tを増やすこと」と思いが広がります。

若い世代に会員になってもらうためには

現在、A C T会員のうち約半数は、ケア利用者や共済加入者ではありませんが、A C Tの理念に共感して入り続けている人たちです。この方たちにA C Tに入って良かった、会員でいることの良さを実感してもらえようようにしていきたい、という思いがあるそうです。人が孤立しないしくみをつくっていききたい。いざ困ったというときに応えたい。そのためには拡大が大きな課題で、若い世代にもっと参加してもらう必要があります。

一生の中でも特殊な時期である産じょく期や、子育て真っ最中の時に、誰かの助けがあるととても嬉しいと思います。「子育て期にA C Tの仕組みを知って利用してもらい、後になって次は自分が誰かの役に立つ側になれると実感してほしい。子どもが大きくなれば時間に余裕もでき、積極的に社会参加が出来るようになってくる。そんな時、助かったことを思い出し今度は返していく側になれるのでは」とのことでした。

みんなで力を合わせて取り組みたい

「A C T運動グループ誰でも共同の家」や「見守り事業・安心コール事業」のような新規事業は、どれもA C Tらしい取り組みを目指していますが、日々増える新たな社会のニーズに対応が急がれます。A C Tは「こう生きたい」を形にできる組織なので、大勢の会員が安心

して暮らせる地域を、みんなで力を合わせて取り組んでいこうと思っています、と抱負を語ってくれました。

豊泉さんは長年たすけあいワークスで活動をしてきたからこそ、地域にこんな仕組みが欲しい、という強い思いがあります。それがまさに今回の地域A C Tでした。これからのA C Tの発展に向けて大いに期待したいと思います。

編集部 山木きょう子



2019 年度 役員紹介

<理事> (2019/5/25総会選出 50音順)

氏名	住所	所属
相川 名美	青梅市	A C T事務局
相原 光子	荒川区	A C T会員
五十嵐 泰子	北区	たすけあいワークス「ひよこ」
織田 由美子	国分寺市	たすけあいワークス「風ぐるま」
角 能	横浜市	内閣府男女共同参画局
菊地 成子	町田市	A C T会員
小林 幸治	武蔵村山市	認定N P O法人まちぼっと
小林 徹也	町田市	生活クラブ生協・東京
小山 みね子	世田谷区	N P O法人A C T・人とまちづくり
杉浦 尚子	江戸川区	たすけあいワークス「もも」
武内 好恵	多摩市	東京・生活者ネットワーク
土田 さち子	小平市	たすけあいワークス「どんぐり」
鶴島 佳子	江戸川区	A C T会員
豊泉 惣子	杉並区	たすけあいワークス「さざんか」
西城戸 誠	さいたま市	法政大学人間環境学部
樋口 蓉子	杉並区	A C T会員
平野 ひろみ	小平市	たすけあいワークス「らいふえいど」
山木 きょう子	世田谷区	A C T会員

<監事>

矢崎 芽生	江東区	公認会計士
和田 安希代	東村山市	A C T会員

第 21 回 ACT 総会



人と人がつながる

ACTの安心ネットワークを拡げよう！

ACT会員の出番です！会員一人ひとりの力で地域ACTをつくろう

5月25日 東京ウィメンズプラザ

会員数 5,938 人のうち当日出席者は 101 名、書面表決者は 276 名、委任表決者 60 名、合計 437 名により、全議案が可決承認されました。

2018 年度は「人と人を繋げる ACT 安心ネットワークを拡げよう」をテーマに活動しました。3 つの「地域 ACT」では 3 モデルのうち文京 ACT の創立、10 月に改訂された ACT つながるケア（自立援助サービス事業）の影響について検証、組織運営として理事のあり方及び役員報酬の見直し検討などを中心に報告しました。

今年度は過去 12 年間にわたり減少が続く会員と共済の拡大を最重要としすべての活動の基本としました。会員は加入 640 人、年度末 6,007 人で純増 50 人、アビリティ共済は、共済委員、募集人の知恵を結集したプログラムを展開して新規加入 110 人、年度末 1,745 人を目指します。

今年は第 4 次中長期計画の中間点。「地域 ACT」は昨年からさらに小金井、武蔵野など 15 自治体に拡げ展開。

地域 ACT の活動点検と情報共有をするまちづくり委員会の設置。新規事業として電話による安否確認の見守り事業・安心コール事業や、もう一つの会員同士のたすけあいの仕組みづくりの検討、自宅ではない終の棲家として「ACT 運動グループだれでも共同の家」。未組織エリアのニーズに応え、新たなワーカーズづくりをはかる ACT 事業「ACT つながるケア東京」の立ち上げ検討の提案に会場から多くの質問や意見が出されました。終了時間の制約から十分な討議までには至らず、課題として残りました。その他総会で決定した方針の確実な実行のための組織運営の在り方、人材育成などの取り組みなどを提案し、全ての議案が可決承認されました。新たに選ばれた理事 18 人監事 2 人の新体制で推進していきます。

ACT 理事 相原光子

連載コラム



男女共同参画社会促進に向けて

かどよく
角 能

ACT 理事
内閣府男女共同参画局

今回より男女共同参画社会について、私見を語らせていただきます。人々が希望する人生を実現していく上でのハードルになっているのが、一方の性に負担や価値観が偏在した社会構造です（たとえばブラック企業、介護地獄や育児ノイローゼなど）。

これまで男女共同参画社会実現を妨げる「要因」について、様々な理論的視点が提起されてきました。しかし複数の理論的視点が錯綜することでも「要因」は発生しています。そして男女格差の再生産と変化が同時に生じているのも現代の特徴です。さらには男女共同参画とは何かに対する思いも十人十色です。

それでは我々に求められている男女共同参画に向けた実践知（即応力）とはどのようなことでしょうか。まず個別の事象に真摯に向き合い、その事象の特徴を捉え即

応することだと考えます。実践知は英知の宝庫ですが、個別の体験に終わらせては社会全体の変革につながりません。他の現場の方との実践の成果の共有が必要です。その時に必要なのが、これまでの理論的視点です。そのためにはこれまでの様々な視点をどのように組み合わせることが有効なのか、あるいはこれまでの理論的視点とその実践知はどのように異なるのかを整理し発信していくことも重要になってきます。最後に社会全体の動向を読み解くと同時に、個別の実践を深く掘り下げるという 2 つの情報リテラシーも必要になってきます。

男女共同参画を取り巻く環境は不透明さを増しています。しかしこのような時こそ、以上のような実践知を生かし新しい知を生み出す好機といえます。次号から、具体的な事例を中心に紹介していきます。

総会 公開講座

地域力発見！その気にさせる魔法のパワー

～多世代・多様な人が交差する芝の家の日常から～

地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト「芝の家」

事務局長 加藤^{あきこ}亮子さん



◀ 加藤亮子さん



最初に、TVの情報番組で放映された芝の家の日頃の活動の映像を見ました。芝の家のあたりのまちの様子や、集まってくる高齢者や子ども達の笑顔。最初の芝の家の建物は耐震性の問題で引っ越さなければならず、新しい場所にみんなで荷物を運んでいる様子などを見て、都内でも昭和30年代のような、あたたかい人のつながりがあるということがわかりました。

芝の家は、港区芝地区総合支所の地域事業として、慶応義塾大学の先生方が立ち上げた三田の家有限責任事業組合と、市民ボランティアと来場する皆さんの中から、運営全体業務を担当するスタッフ2～3人が協働で運営しているそうです。

きっかけは、「芝会議」という住民参加型の地区政策会議で、ご近所づきあいの希薄化と、自助・共助・公助の「共助」を強化するにはどうしたらよいか？町会活動と

は別の切り口も必要では？常設型の交流拠点を設置してみたら？ということで、2008年10月に開設。

過ごし方は自由。「コミュニティ喫茶」「お弁当持ち込みOK」「駄菓子やラムネ」「昔あそび」「Wi-Fi使えます」など、さまざまです。

事務局長の加藤さんが日頃大事にしていることは、それぞれの「持ち味」を持ち寄れる場であること。70代の方が折り紙の先生として、見学に来た大学生や小学6年の女の子と一緒に折り紙で遊んだり、町会長がレコードコンサートを開催したりしています。

行政と大学がきっかけを作り、素敵な場所となった、なんとも羨ましいかぎりの活動報告でした。

自分自身が楽しむこと！それが、周りの人をその気にさせる魔法のパワー!! ACT理事 織田由美子

第1回

どう変わる？公的制度

—地域で育む共生社会をつくろう—



国は社会的養護のあり方として、家庭的養護の推進を掲げています。特に愛着(養育者との信頼関係)形成に重要な3歳未満の乳幼児期について、5年以内に里親委託率75%達成を目指しています。生活者ネットワークは乳児院だけでなく、特別養子縁組や里親制度による早期の家庭的養護を実現することが必要と考えています。

都でも家庭的養護の推進をめざし、養育家庭やファミリーホームと併せ、施設であってもグループホーム等での小規模化を進めていくとしており、期待されます。

そのためにも里親支援の充実により養育家庭を孤立させないことや、施設職員の待遇改善による養育環境の向上が必要です。さらに施設を地域に開き、住民との交流を図りながら、養育家庭や施設で育つ子どもも「地域で育む」共生社会をつくっていくことが望まれます。

清瀬・生活者ネットワーク 小西 みか

研修・講座案内

生活クラブの学校 2019

まちの相談パートナー養成講座

7/12(金) 基礎講座

第3回(10:00～12:30)

・利用者のニーズを理解する

第4回(13:30～16:00)

・自立援助とコーディネーターの役割

9/6(金) 専門講座

第5回(10:00～12:30)

・現在の子育て事情/地域の子育て支援

※参加費：1講座1,000円(ACT会員無料)

会場：NPO法人ACT会議室

中野坂上駅から徒歩7分

※お申し込みはお早めに 03-5302-0393

(ACT事務局)

基礎講座・・・コミュニティとは何か、地域を育てるとは何か、言葉にされていない身近なニーズをどのようにキャッチするか考えます。

専門講座・・・まちの縁がわの担い手として知っておきたい現状や知識を学びます。



あくとインフォメーション

お知らせ

お問合せは下記ACT事務局連絡先まで

◆ACT訪問介護事業部会研修「介護保険制度についての現状と課題」

(たすけあいW, co 連合主催/ACT協賛)

7月11日(木)13:30~15:30 ACT会議室

講師:服部万里子さん(服部メディカル研究所所長)

受講料:ACT運動グループメンバー無料

上記以外のACT会員1,000円 一般2,000円

服部さんのお話はわかりやすいと好評です。ぜひご参加ください。

◆ACTコミュニティ活動応援基金助成金選考公開ヒアリング

8月3日(土)10:30~ ACT会議室

どなたでも傍聴できます。ACTコミュニティ活動応援基金の助成を受けたい方、居場所づくりをお考えの方、ぜひご見学ください。

◆まちの縁がわフォーラム 東京に「まちの縁がわ」をひろげよう チラシ

9月7日(土)13:30~16:00 生活クラブ館(世田谷区宮坂)

参加費無料

東京都の職員による地域包括ケアシステムに関するお話、都内11ヶ所のワーカーズ・まちの縁がわの活動紹介、パネルディスカッションなど

◆介護職員初任者研修

介護を学びたい方、介護職の資格を取りたい方、本年度も11月より開講予定(土日コース)です。次号(8月下旬発送)にチラシを同封します。

ご寄付

(2019年4~5月分)

皆様のあたたかいご協力とご寄付に御礼申し上げます。

- | | |
|-------------------------------|------------|
| ・ACTコミュニティ活動応援基金 | 8件 19,000円 |
| ・こども福祉研究所山田町支部の活動「山田町ゾンタハウス」へ | 1件 10,000円 |

理事会報告

第21回総会で役員が改選され、第1回理事会で三役が選出されました。

理事長:豊泉 惣子

副理事長:相原 光子 土田 さち子

専務理事:相川 名美



編集後記

ACT通信が今号から待望のリニューアル、カラー化しました。これからも読みやすく、充実した機関紙を目指していきます。皆さまからのご投稿や、こんなことを掲載して欲しいなど、ご希望もぜひぜひお寄せください。(さっちゃん)

特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい

〒164-0012 東京都中野区本町1-13-18 大新NSビル2F

TEL 03-5302-0393 FAX 03-5302-0394

E-mail: tokyoact@maple.ocn.ne.jp <https://npooact.org/>



Facebookもチェック



いいね!

